



平成24年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年6月8日

上場会社名 アヲハタ株式会社 上場取引所 東
コード番号 2830 URL <http://www.aohata.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野澤 栄一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営推進本部長 (氏名) 矢萩 直秀 TEL 0846-26-0111
四半期報告書提出予定日 平成24年6月13日 配当支払開始予定日 平成24年7月9日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年10月期第2四半期の連結業績（平成23年11月1日～平成24年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第2四半期	9,781	△1.3	581	△21.6	588	△21.7	307	△22.3
23年10月期第2四半期	9,911	5.3	742	15.9	751	16.7	396	3.8

(注) 包括利益 24年10月期第2四半期 335百万円 (△15.3%) 23年10月期第2四半期 396百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第2四半期	44.72	—
23年10月期第2四半期	57.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年10月期第2四半期	13,472	9,371	68.5
23年10月期	12,554	9,087	71.2

(参考) 自己資本 24年10月期第2四半期 9,230百万円 23年10月期 8,944百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年10月期	—	7.50	—	—	—
24年10月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年10月期の連結業績予想（平成23年11月1日～平成24年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,300	1.6	950	0.7	970	0.7	540	2.7	78.41

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年10月期 2 Q	6,900,000株	23年10月期	6,900,000株
② 期末自己株式数	24年10月期 2 Q	12,930株	23年10月期	12,820株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年10月期 2 Q	6,887,128株	23年10月期 2 Q	6,887,255株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、東日本大震災の影響から緩やかに持ち直しているものの、欧州の政府債務危機や海外景気の下振れの影響に加え、電力供給の制約や原子力災害の影響、高水準が続く失業率など懸念材料も多く、厳しい状況で推移いたしました。消費者物価の下落テンポは緩和されつつありますが、食品の販売場面での低価格志向は継続しており、緩やかなデフレ状況にあります。また、安定供給への懸念が続く原油を始め、砂糖や穀物類など主要作物の国際相場は高値で推移しており、原材料の仕入れ価格の上昇に予断を許さない厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは年度方針として、引き続き「1. 人材育成」「2. 原料起点経営」「3. コスト挑戦」「4. 営業革新」に取り組み、基盤強化と体質転換を図るとともに、「5. お客様の求める価値の実現」を重要課題と位置づけ、新たな価値の創出と提案に努めることをテーマに掲げ取り組んでまいりました。今春には、“ジャムを毎日食べる”ヘビーユーザーに向けて、軽量びんを用い利便性を高めた「アヲハタ・55ジャム」の大容量タイプ(490g~500g)を発売いたしました。また、赤ちゃんの頃からフルーツのおいしさに出会うことで、フルーツ好きで健康なお子様へ育ててほしい、という願いを込めた育児食「キューピー・ベビーデザート フルーツジュレ」シリーズを発売いたしました。4月には、ジャムに関する情報発信拠点として、工場見学の受け入れやジャムづくりが体験できる「アヲハタ ジャムデッキ」をオープンいたしました。

売上につきましては、ジャム類では今春新たに発売した「アンズジャム」を加えた「アヲハタ・カロリー50%カットジャム」シリーズは伸長しましたが、ジャム類全体では前年同期を下回りました。調理食品類は「キューピーやさしい献立」シリーズは大幅に伸長しましたが、調理食品類全体では前年同期を下回りました。産業用加工品類は、フルーツ原料販売が大幅に伸長し、フルーツ・プレパレーションも好調に推移したことなどにより、産業用加工品類全体では前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は97億81百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

利益につきましては、原材料価格が上昇したことなどにより、営業利益は5億81百万円(前年同期比21.6%減)、経常利益は5億88百万円(前年同期比21.7%減)、四半期純利益は3億7百万円(前年同期比22.3%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億18百万円増加し134億72百万円となりました。資産の増減の主な要因は、現金及び預金の減少6億88百万円、受取手形及び売掛金の増加7億41百万円、商品及び製品の増加2億81百万円、原材料及び貯蔵品の増加4億22百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ6億34百万円増加し41億1百万円となりました。負債の増加の主な要因は、短期借入金の増加5億円、支払手形及び買掛金の増加2億13百万円などです。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億83百万円増加し93億71百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加2億56百万円などです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ6億88百万円減少し、4億68百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、6億52百万円(前年同期比2億7百万円の支出増加)となりました。主な増減要因は、税金等調整前四半期純利益5億79百万円に加え、仕入債務の増加2億13百万円、売上債権の増加7億41百万円およびたな卸資産の増加7億1百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、4億91百万円(前年同期比2億29百万円の支出増加)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得4億80百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、4億48百万円(前年同期比5億3百万円の収入増加)となりました。主な要因は、短期借入金の増加5億円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、今後も厳しい経営環境が続くことが予想されますが、新製品の投入による販売の活性化や全社的な利益改善活動の継続などによる利益の掘り起こしを軸に売上および利益の向上を目指してまいります。平成23年12月9日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,156,679	468,013
受取手形及び売掛金	3,141,987	3,883,889
商品及び製品	1,127,852	1,409,029
仕掛品	28,623	26,228
原材料及び貯蔵品	1,993,924	2,416,164
その他	249,633	260,911
貸倒引当金	△15,948	△20,925
流動資産合計	7,682,751	8,443,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,643,455	1,768,178
機械装置及び運搬具(純額)	990,743	996,410
土地	1,311,042	1,311,042
その他(純額)	98,173	140,865
有形固定資産合計	4,043,414	4,216,496
無形固定資産	62,345	63,494
投資その他の資産		
投資有価証券	386,379	402,467
その他	384,870	352,371
貸倒引当金	△5,182	△5,182
投資その他の資産合計	766,067	749,657
固定資産合計	4,871,827	5,029,648
資産合計	12,554,579	13,472,959
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,976,702	2,189,922
短期借入金	—	500,000
未払法人税等	172,671	228,404
賞与引当金	270,965	228,934
役員賞与引当金	8,158	1,995
その他	496,707	420,160
流動負債合計	2,925,204	3,569,418
固定負債		
退職給付引当金	407,262	426,891
資産除去債務	57,874	57,994
その他	76,584	47,291
固定負債合計	541,722	532,177
負債合計	3,466,926	4,101,595

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	644,400	644,400
資本剰余金	714,594	714,594
利益剰余金	7,531,999	7,788,342
自己株式	△13,397	△13,542
株主資本合計	8,877,596	9,133,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,939	86,231
繰延ヘッジ損益	△3,197	457
為替換算調整勘定	△405	10,214
その他の包括利益累計額合計	67,335	96,903
少数株主持分	142,721	140,666
純資産合計	9,087,653	9,371,364
負債純資産合計	12,554,579	13,472,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
売上高	9,911,763	9,781,945
売上原価	8,265,915	8,269,154
売上総利益	1,645,847	1,512,790
販売費及び一般管理費	903,195	930,814
営業利益	742,652	581,975
営業外収益		
受取利息	238	245
受取配当金	2,521	2,425
受取賃貸料	12,198	12,114
その他	5,404	3,433
営業外収益合計	20,362	18,218
営業外費用		
支払利息	89	425
賃貸費用	7,076	7,356
固定資産除却損	3,889	1,253
為替差損	12	2,392
その他	165	352
営業外費用合計	11,233	11,780
経常利益	751,781	588,414
特別利益		
貸倒引当金戻入額	74	—
特別利益合計	74	—
特別損失		
固定資産除却損	—	8,875
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	53,712	—
災害による損失	40,387	—
投資有価証券評価損	460	—
特別損失合計	94,559	8,875
税金等調整前四半期純利益	657,296	579,538
法人税、住民税及び事業税	292,897	225,243
法人税等調整額	△30,930	48,227
法人税等合計	261,966	273,471
少数株主損益調整前四半期純利益	395,330	306,067
少数株主損失(△)	△1,022	△1,930
四半期純利益	396,352	307,997

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	395,330	306,067
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,416	15,292
繰延ヘッジ損益	4,821	3,930
為替換算調整勘定	—	10,619
その他の包括利益合計	1,405	29,842
四半期包括利益	396,735	335,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	397,703	337,564
少数株主に係る四半期包括利益	△967	△1,654

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	657,296	579,538
減価償却費	231,696	243,545
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32,638	△42,030
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,942	△6,163
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	21,948	19,628
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,310	4,976
受取利息及び受取配当金	△2,760	△2,670
支払利息	89	425
為替差損益 (△は益)	9	2,392
有形固定資産除却損	3,889	10,129
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	53,712	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	460	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△790,870	△741,902
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△605,761	△701,022
仕入債務の増減額 (△は減少)	345,480	213,220
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△10,656	△44,962
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△137,969	11,159
その他	△10,231	△7,669
小計	△274,935	△461,403
利息及び配当金の受取額	2,760	2,670
利息の支払額	△83	△490
役員退職慰労金の支払額	△285	△30,200
法人税等の支払額	△180,867	△170,567
その他の収入	8,360	7,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	△445,050	△652,437
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△269,186	△480,785
無形固定資産の取得による支出	△1,765	△10,460
有形固定資産の売却による収入	2,639	—
投資有価証券の取得による支出	△123	△10,124
投資有価証券の売却による収入	—	10,000
その他	7,257	313
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261,178	△491,057
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	500,000
自己株式の取得による支出	△150	△144
配当金の支払額	△54,827	△51,336
少数株主への配当金の支払額	△800	△400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,777	448,118
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	6,709
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△762,016	△688,666
現金及び現金同等物の期首残高	1,178,306	1,156,679
現金及び現金同等物の四半期末残高	416,289	468,013

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。